

2 単純集計表（おとな）

I 平成 12（2000）年 12 月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きます。

Q 1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は 1 つ）

	件数	%
1 名前も内容も知っている	26	6.6
2 名前だけ知っている	105	26.5
3 知らない	258	65.2
無回答	7	1.8
合計	396	100.0

Q 2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 学校の授業（授業参観含む）	13	9.8
2 学校の授業以外での話	5	3.8
3 学校で配布されたもの	52	39.4
4 学校の掲示物	10	7.6
5 市ホームページ （こどもページを含む）	20	15.2
6 市政だより	68	51.5
7 図書館の掲示	11	8.3
8 イベント	8	6.1
9 その他 （無回答=2、N=132）	4	3.0

【その他】

- ・保育園看護師として働いている時に
- ・親から聞いた
- ・そういうものがあるとなんとなく知っているだけ
- ・里親研修
- ・職場
- ・不登校のサポート団体の配布物

Q 3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を 1 つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

	件数	%
1 安心して生きる権利	228	57.6
2 ありのままの自分でいる権利	33	8.3
3 自分を守り、守られる権利	60	15.2
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	15	3.8
5 自分で決める権利	24	6.1
6 参加する権利	6	1.5
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	18	4.5
無回答	12	3.0
合計	396	100.0

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・安心して生きることが全ての基本だと思うから（他 40 件）
- ・安全安心に生活できることが命を守る最低条件だと思うから（他 40 件）
- ・2～7 の権利は、1 安心して生きる権利が成立しなければ、成り立たないと思うから（他 25 件）
- ・愛情を受けて育つとまわりの人にも愛情を与える事ができるから（他 15 件）
- ・生きていくことが大事だから（他 12 件）
- ・差別を受けずに安心して暮らせることが一番大切だと思うため（他 5 件）
- ・最低限必要（他 4 件）
- ・権利として、当然保証されるべき事だと思うから（他 3 件）

- ・安全が最も重要と思われたため（他2件）
- ・子供は未来の希望です（他1件）
- ・命に関わるところかと思います（他1件）
- ・命にかかわること
- ・子ども達は、色々な人に守られながら、成長していくべきだと思うから
- ・子どもは1人で生きていけないから
- ・生まれた所、家族などに左右されず、安心して生活できることが大切
- ・まずは安心が保障されるべき
- ・憲法の考え方が示されている
- ・2〜3を受けるためにも1があることが大前提だから
- ・生まれながらにして子供にある権利だから
- ・その子どものまわりの環境・場所・大人・友だち全てに安心できる状況で育ってほしいと思うから
- ・みんな平等に分けへだてなく育ってほしい
- ・子供は自分で自分を守れないので！
- ・安心があってこそ、様々な感性や教養を身につけられるから
- ・生活が基バンだと思うので
- ・一瞬3と思ったが、まだ意見を持ったり、相談を自らすることのできない年齢の子どももいるので、1がもうらできていて大切だった
- ・どんな環境に生まれても愛されて生きることが必要だから
- ・人権の保証
- ・当たり前のことと思うが、現実にはそうでない環境で過ごす子どももいると思うから
- ・ここからはじまる
- ・子どもという社会的権力を得ない子たちが、親は勿論、周囲の人からも安心、安全に育ててもらうことが大切
- ・子どもたちがネグレクトや身体的、精神的虐待などにあわぬように生きられることはとても大切なことだと思う
- ・小さい時から身近にいて、それが普通だと思うような生活をさせる。それには大人の努力が大切である
- ・1番があって、子供は、大人になると思います
- ・他の項目よりも生命に関わるものに思えるから
- ・今の世の中では、川崎市に限らず、心から安心できる場所が少なくなった気がします。子供達には、子供らしい無邪気さで安心して探して欲しい
- ・すべての子どもたちが、幸せだとおもえる社会になって欲しい。心の財産だと思う
- ・どれも「権利」というのはなんとなく疑問に思うけど、権利というなら他のは自分次第などところがあるが安心安全は子供だけではどうにもならないから大人がなんとかしてよ、という意味で権利かな
- ・56歳のオヤジです。公立中学生時代は校内暴力、イジメが蔓延っていました。自分は特にイジメにはあっていませんが、教師は見ても見ぬふりさえしていました
- ・安心できる心を持ってないと、何も前に行動もやる気も伴えないから
- ・自立、独り立ちするまでは、安全に暮らせることが1番だと思う
- ・値上げのニュースばかりで「うち大丈夫？」と言われてしまった。不安な情報で心配させたくないが、高学年ともなると察する力がすごいので「今だけでしょ」と紛らわしている
- ・精神的な安定は絶対必要だと思う
- ・親の都合や団体生活の中で辛い思いをしている子供たちを守りたい
- ・自由の中で大切な物だから
- ・どの人格も否定されることなく受け入れ理解される場所（環境）があるべきだと思う。家庭環境に関係なく、差別を受けず、1人ひとりを尊重できる場所があることで、愛情を感じ子どもを大きく成長させ、1人ひとりの力が発揮されると考える
- ・どこに行っても安全に学べて遊べる地域と権利が必要
- ・発達障害の子を育てていると、差別される事からはどうしても避けて生活できない。まずは大人が、自分らは違うからと思わず理解しようと努力し何々だからと言う目をやめ一人一人のユニークを楽みあいたい。自分を大好きと思えるような子供たちになってほしい
- ・勉強が出来なかったりしても、母親としては安心して生活出来る環境をつくれていれば子供も幸せなんじゃないかなと思う
- ・まずは家族や友達、地域からしっかり愛情を受けて育って欲しいと考えるから。交通、防犯を含め安心して生活できる環境であって欲しいから
- ・安心できる場所があれば人は、落ち着くと思うし愛情と自分の事を認めてもらい信じてあげられる環境や人がいれば安心して生きていけると思う
- ・何をもってしても、まずは自分が誰かから愛情を持って接してもらえるとということがすべてにおいて心のささえになるから

2 ありのままの自分でいる権利

- ・ 個性的な人が増え、自分らしくいる事が大事その中で社会とつながる事が望ましい（他 3 件）
- ・ 心も身体も休ませる場所がないと次の一步を出せなくなってしまうから（他 2 件）
- ・ 情報化社会で、幼い子どもでも容易に様々な情報を得ることができます。だからこそ左右されずに自分らしく、個性を大切に生きてほしいから
- ・ 大人になった時自分の考えをしっかり持って生活できる
- ・ 自由
- ・ 全て当たり前のことの様に思いますが、子どもだけに正しく判断できないこともあるため
- ・ ひとりひとりがちがうことを知って、みとめ合うことで、差別がなくなり、世界平和につながると思うから。やわらかい頭をもつ子どもが多くなると、それにつながると思う。みんなちがってみんないい
- ・ いろんな人がいて良いと思う
- ・ 画一性がある教育はもう古い感じがする
- ・ 出来そうで、なかなか出来ない事だと思うから
- ・ その子らしく生きてほしいから
- ・ 自分で最初に決めた道筋で最後まで貫く
- ・ 昭和、平成初期の部活動など行きすぎた管理で、将来、成長が奪われてしまった経験があるため
- ・ 個性や秘密が守られることはとても大切だから
- ・ 人間にはホッとできる場所があることが大事
- ・ おとなの理論で頭から子どもを否定しないでほしい。“だめ”よりも良くできた事をほめたり、“こんな方法もあるよ”と言ってみたり…。私はしかられて育った世代なので、もうその育て方はやめてほしい
- ・ 自分の中でホッとできる場所すなわち自分の居場所があることはプラスにつながるから
- ・ 他の人と違ってはいけない、人と違うことは変だとクラスメイトの反応から感じていたから、そんなことはない小さいころから知っていたし、誰かに言われたかった
- ・ 大人になってもありのまま生きている人、個性的な人や自分の好きなことややりたいことをやっている人に魅力を感じるし、すごい人と感じることが多い
- ・ 子どもの頃からありのまま生きるように教えれば、将来すごい人になるかもしれない
- ・ さまざまな背景、環境の子どもたちでも飾らずに人間らしく生活出来ることが必要と思えるので。
- ・ 子どもそれぞれに色んな違いや個性、疾患、障害、家庭の事情があります。その違いによって差別されないようみんなが行きやすい社会でたるべきだと思います
- ・ インターネットの利用機会が若い頃からあり、関連する犯罪や事件に子どもが巻き込まれることが増加しているから
- ・ 自分の趣味や家庭環境も含め、安心して過ごせる場所は大切だと思う
- ・ 保護者からのプレッシャーや周りの子供の発言から、自分らしさを出さないようにしたり、無理やり周りと合わせたりしている子供達の様子を見て、もっと自分の個性を大切に生き生きと生きて欲しいから
- ・ ありのままでいられる権利を守られることで、心身が健康であり、他の権利も守られていくと思うから

3 自分を守り、守られる権利

- ・ 命を守らなければ、他の権利につながらないから（他 3 件）
- ・ 一番もっともむずかしい権利だと思し、子供をいかせる努力がほしい（他 1 件）
- ・ 子どもが、安心して安全に生活できる事が大切（他 1 件）
- ・ いじめ虐待、体罰など、あってはならないと思います。弱い子どもにとって守ってあげられるのは、大人、社会しかない（他 1 件）
- ・ 助けが必要な時相談できる事(人)がいてほしい
- ・ 気軽に相談できる相手が必要だから
- ・ いじめ、ぎゃく待体罰などは、仲々、本人が言い出せない事が多いので、相談されたら、真剣に耳をかたむける様にしたい
- ・ 他の権利よりも、守られなかったときにその後の人生への影響が大きいと思った
- ・ 今の時代、子ども達はいじめに苦しんでいる。いじめる側も、いじめられる側も、安全に守られる環境になく、人を信じられなくなってきている。個が守られることが大切だと思う
- ・ 自分の意見が尊重されるので
- ・ 心や体が守られることは最低限の権利だと思うため
- ・ いじめは社会から無すべき
- ・ 自分じしんを皆大切にまもられる
- ・ 自分が守られることを知っていれば、自ずと他の全てを自分で選ぶことができると思う
- ・ 人間はまずは生理的欲求の充足が必要だから
- ・ 自分が小学生の頃、いじめに遭っていましたが、学校には相談できませんでした。相談し、逃れられると良いです
- ・ 少くとも最低限人間らしい生活、家の中がやすらげる安全な場所であることが守られる必要がある
- ・ お金では解決できないことだから(いじめなど)

- ・いじめは1対1でなく多数なのが常、助けが必要
- ・安心して生きる権利も大切だが、先ずは、「自分を守ること・命を守ること」が一番大切だと思う。「守られる権利」がいき渡ると良いと思うから
- ・まだ未熟だから守ってもらわないと壊れてしまうから
- ・自分だけで自分を守るのが難しい立場だから
- ・幼いうちは身近な大人の言葉が絶対的な部分があると思う。何か正常で、何が異常かを周りが見守り、教えていく必要があると思う
- ・どれも大事だが、基本的人権のために特に必要だと思うため
- ・自分自身が幼い頃いじめで苦しんだ為
- ・今だに学校でいじめがあり、問題だ
- ・虐待件数が増えているため
- ・いじめが減る事につながると思う
- ・いじめは許されることではない
- ・他の人の意見に流されることが多くなっている中で、権利としてしっかりあることが大切だと思ったから
- ・子どもが生きていく中で、身近な人以外に頼れる場所があると安心するので
- ・“身勝手な大人が小さい子を痛めつけるニュースを見ると、とても腹が立って、とても悲しくてたまらなくなる。まず、何をするにしても、健康な心身でいなければ、はじまらない。”
- ・傷つき、苦しい状況において周囲から守ってもらえたか、守ってもらえる環境、制度があるかどうかはその後の人生において重要になると思うから
- ・戦う（抵抗や相談等）事は更なる悪化を生むため逃げるのが大事。
- ・今の学校では先生が対処しないまたは、分からないというケースが多くなっています。だからこの守られる権利は大切だと思いました
- ・しっかり虐待やいじめを受けている子供の意見も聞くべきだと思うから
- ・自分自身が守られることから、すべては始まると思うので。すべての子がそれぞれ守られている環境にあれば解決できることは多いと思います
- ・学校や行政から圧をかけて抑止力を発揮するべきだから
- ・全ての子供が生きてそこにいて、個人として尊重される環境であってほしいです
- ・問題があったときに一時的に退避して、しばらく休んだあと元に戻れる場所があることは重要だと思うから

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・子供は成長する時期に様々な経験をしていくべき、また強くなることが社会の安定にもつながると思うから
- ・子供の成長につながる全てのもとだと思います
- ・遊んで学びを得るから
- ・生きる力を身につけるため
- ・子供の頃は近所の子とか同級生とか…共同作業や学びとかそんな中でもまれなから親への感謝とか友人へのおもいやりとかを学ぶのでけんかもするし、仲直りもする。子供達本人が学ぶ事を経験することか大切
- ・豊かに成長できる環境は、大人になる為に必要であると考えから
- ・興味ある事をのばしてあげることが子どもの将来につながるきっかけになると思うから
- ・公園や学校で、友達と仲良く遊ぶのが、成長につながる
- ・想像力や創生力を伸ばし、クリエイティブな環境で個性を伸ばす。

5 自分で決める権利

- ・子供に対して押しつけは良くない。気軽に相談出来る所を増やし一緒に対処し、本人の納得出来る答を見つけてあげ、大人も見守る体勢を築いていく（他1件）
- ・自分のことを理かいるのも、何するにも自分で選たくする力が必要だと思うから
- ・保護者が必ず間違っていないとは限らないと思うから
- ・子ども自身の意見を大切にしたいから
- ・現代社会は、人の意見に流される人が増えてきている
- ・個性を尊重し、自分のことに自身をもつこと
- ・自分のことは自分で考え、決めることは大切。小さなことでも決めることができるのは大人になる前でも大切
- ・子どもと言えど1人の人間として自分のことを決めることが大事
- ・自分決めることは大事
- ・自分で決めるの良し、だがおとなの話し、必要が得られる
- ・生きる事に必要
- ・自分の意見を尊重出来ること
- ・何事も人の意見に左右されず決めれる事ができる大人になって欲しいから
- ・自分で決定できる権利を大切にすることで、自己決定する力、粘り強く取り組む力をつけることができる。学校教育目標とも合致している。今の子どもたちにとって必要な、大切にしたい権利と思う

- ・子どもは、子供であるという理由で自己決定を妨げられることがある。その中には正当なものもあるが、不当なものも含まれている。また、情報が十分に与えられないということもある。それらを改善するために、自分で決める権利を強調することは大事だと思う
- ・大人に決められて守られて来た反面、決断に責任を持つことと判断基準が乏しい中で決めること
- ・人のせいにしないで自分で納得して進路や人生について考えて欲しいので
- ・自分で生きていく力をつけることにつながると思うため

6 参加する権利

- ・社会や組織の中で、協調性をもって自己表現するとともに他表現も認めることができる
- ・大人になって意見が言えないと自分の存在意義がなくなるから
- ・多様な社会参加へ早期に馴じませる為
- ・自分のことを表現する権利は大切だと思うから
- ・社会に出て人や物事に接し、経験するというのが、何よりも人を成長させると思うので
- ・障害あるないにかかわらず、仲間を作ることは大切だと思います

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・低所得者世帯で、大学までと思っても奨学金を利用しても返済する心配で進学できない
- ・現代社会において、一番考えなければならない精神であるし、行政がやるべき仕事のひとつだと思うから
- ・差別されず、成長出来るように
- ・しょうがいがある子どものいっぱんの仕事が好きくない
- ・子供や親といった個々の努力では変え難い問題を社会で把握し支援する必要があると感じるため
- ・日本のシステムの中で最も欠如している項目である
- ・多様性の時代だから
- ・安心して学べる
- ・差別されない、ということが基本的人權の尊重そのものだから。どんな子どもも等しく尊重されるべきだと思う
- ・ダイバーシティ、インクルーシブな社会の実現に向けて不可欠だから。2にも重なる
- ・子どもは生まれながらに不平等、国の違い、経済的理由、身体的特徴
- ・近年、精神に身体的に障害を持つ子供が多くなっています
- ・支援を求めて悩む親も増えています
- ・例えば支援級 病院
- ・良い先生ばかりとは言えません
- ・口コミで広がる情報も当てにはなりません
- ・障害は個人差があるからです
- ・支援が必要な人に速やかに的確に受けられる体制が必要です
- ・外国人も多い川崎では助けが必要な子供も多いと思うから
- ・通常の学校教育ではカバーできない知能の子供もいるため
- ・子どもも一人ひとり考えや生活環境、経済状況等も違うから
- ・少数派の子どもたちが多数派に抑圧されないようにするために

Q4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

	件数	%
1 安心して生きる権利	34	8.6
2 ありのままの自分でいる権利	47	11.9
3 自分を守り、守られる権利	99	25.0
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	24	6.1
5 自分で決める権利	40	10.1
6 参加する権利	18	4.5
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	67	16.9
無回答	67	16.9
合計	396	100.0

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・大人の理解不足とどうしたらよいかわからないという学習体験不足

- ・公園の遊びなどをもう少しこまめにかくにんする必要があると思う
- ・親の虐待に合い、小さくて命をうばわれる事件が多発していて、周囲が無関心になってきている
- ・役所、児童保護施設で積極的に不審家庭に入れ！
- ・虐待やいじめが多発している
- ・個人の受け方で違うことだと思うし、差別は、なくならないと思うから
- ・定義がばく然として良く理解されていないと思う
- ・親・環境によっては、無理なのでは
- ・7つの権利の内容に重複する点が多いので、1とする
- ・虐待で亡くなっている
- ・差別、家庭環境がいろいろになり、むずかしい状態におかれていると思います
- ・家庭によって状況がまるで違うのが現実だから
- ・小さな子供への虐待が、絶えていない
- ・子供の生きるためのお金を親がつかってしまう
- ・差別を受けず生活出来るように
- ・十分な生活支援を受けることができない家庭、子供たちがいるから
- ・子供は家族が守るべきという時代に合わない考え方が国の中にある
- ・自分で決められることではないから
- ・子どもが親や、身近な人を選べないから
- ・子どもを狙った犯罪等があるため
- ・公園で、保育所0才2~3才の子供来ますが親のあつたさがつたわらない
- ・経済的理由
- ・虐待による悲しいニュースの多いこと
- ・虐待や貧困の問題が多い
- ・自殺する子供がいる
- ・川崎市内においても、子どもに対する虐待やネグレクトなどの事案が報道などで見受けられます
- ・歩きタバコなど子供が危険と思われる大人が多いから
- ・対人関係ではどうしても差別がうまれる為

2 ありのままの自分でいる権利

- ・ホッとできる場所がわからない(どこか) (他1件)
- ・個性は大切にされていないのではと思う
- ・個性より協調性が求められる場面が多いから
- ・一般的に、個性の強い人は、変な目で見られがちだから仲間との集いに入りにくく、孤立しがちで、ホットする場所が必要と思う
- ・集団生活の中で個性を大切にすることは難しいと思う
- ・無意味な校則がまだたくさんあるから
- ・みんなと違うところがあるとはやしたてられたりすることがまだあるから
- ・まだ差別等あると思う
- ・環境に影響する大人だけではなく周りの友人も考える必要があるのにしんとうしていない
- ・公園で花火やボールあそび禁止の場所が多い
- ・どうしても作ってしまうと思うから
- ・ありのままであることを受け入れてもらえない子も多いと思う。親がこうあってほしいという願いも強い
- ・現行、現状においては、社会的環境整備不足だと思う。
- ・他の人との違いやが大切にされ秘密が守られるまた、ホッとできる場所で楽しく遊んだり体を休ませたり出来る
- ・個性や秘密が守られていない
- ・ホッとできる場所が少ない
- ・それぞれ個性があるので、学校になじめない子供達をもっと尊重する必要があると思います
- ・夜遅くに歩く子供を見かける。ホッとできる場所がないから、自分で見つけるために家を飛び出したのかなと思うため
- ・教育の中で軽視されがちなことのように思えるので
- ・まだ偏見のある時代だから
- ・3も含まれますが学校で不登校の児童が必ずといっていいほどいるのを聞いたり、目にしたから
- ・近年 SNS の発展から、自分の秘密を簡単に拡散されたり、遊ぶ場所に関しても、昔のようにノビノビ遊ぶ場所が減ったと思う
- ・自分は他の人違うことが気がつかない
- ・集団生活の中では、ありのままの自分では過ごしづらい時もある
- ・インターネット等の拡散

- ・川崎市に40年住んでいますが、残念ながら何も改善していません。川崎市の学校で求められるのは協調性ばかりで、個性が育ちにくい環境です
- ・学校生活（団体生活）をしていると、どうしても、周りと合さざるを得ない時があると思うから。人と違う個性は差別の対象になってしまうことも残念ながらあると思うので
- ・親からの期待で自由が無さそう
- ・外見や出自などに対する偏見や差別、画一化した教育によって不自由や苦しみを感じている子供がまだ多くいる気がします。登校拒否をする子供が身近に沢山います
- ・子供が不登校になり、世間的には学校に行かねばならないという強制感があり、子供に無理をさせてしまったと今ながら強く感じるため
- ・大人の世界もそうだが、空気を読んで周りに合わせる風潮があるから
- ・個性的なところは否定されがちで、勉強などは学校で学べても、コミュニケーションや生き方には個性を無視した一律な教育が多いのではと思う
- ・人とかけ離れた事をしたり、自己主張が強いと陰口を叩かれてしまう。自分らしく生きて行くほど難しい
- ・個性に対する世の中の認識が熟成していない。まずは社会が多様な個性を理解出来ることが大切
- ・校内研修で、性の多様性研修を行った。性の問題について悩みを抱えている子どもたちが多いことを研修した。そのための学校としての体制がこれからの課題だと考えているので。まだ守られていないと思う。
- ・小学校6年間の中で、個性を尊重し、向き合ってくれた先生が少ない。義務教育9年間もあり、子供には目の前の環境だけが全てではない、と、教えているが、学校と言う狭い空間や狭い考えに大人の私が日々不安を感じている

3 自分を守り、守られる権利

- ・メディアで問題が取り上げられているため（他14件）
- ・いじめはなくなってほしいがまだ多く残っていると思う（他7件）
- ・子供の自殺者が多いDV等のニュースが絶えない何ら改善されていない（他6件）
- ・いじめや虐待が多いから（他3件）
- ・子どもが自分で考え相談するという点は、年齢によっては、判断できないと思える為（他1件）
- ・子供の異変に気付いたら訴えられる機関が少ない
- ・いじめや虐待から逃れられない子どもがたくさんいると思う
- ・今は情報（スマホなど）があり、いじめなども直接的ではなくSNSなどが多い
- ・最もむずかしいから
- ・時間がかかると思います
- ・なんとなく
- ・いじめ、虐待が後をたゞず又行政においても後手が多い。非常に切つないかなしい出来事が多すぎるから
- ・親によるぎゃくたい、ねぐれくと、学校でのいじめなど見えにくいところで子供が悩んでいると思うから子供は言えなかったり間違いが分からないことがあるから
- ・いじめ、虐待などは無くならないのではないかなと思う
- ・TV・ニュースから受ける影響もありますが、大人・教育者が正しい判断をできないことが多い。相談が必要な事態をつくってしまう、気づかない、故に相談もしにくい環境になる
- ・常に虐待や体罰がみられる
- ・毎年、亡くなる子どもが多くいるから
- ・現実的に無くなっていないから
- ・助けがないで、見ていただけの人が多い
- ・兇相の対応が不十分と感じる
- ・自身にとって有害な人間は少なからず存在し、全て守ることはできないのが現実だから
- ・子供の目線でみた相談しやすさが出来ていない
- ・しつけなのか、虐待なのかの判断が難しい
- ・内容的になかなか相談しづらい
- ・守られていないというより、守るための様々な継続的な活動が必要
- ・子どもの意見はあまり聞き入れていない
- ・大人になっても守られない。又は守らない人が多い
- ・不登校・自殺などがなくならないから
- ・指導する人材と活動資金を確保するべき
- ・学校でのいじめに対していままでの例として校長は初めは自分の保身として必ずいじめはなかったと云う
- ・助けが必要な子どもが支援されずにうもれている状況だから。（貧困や虐待など）
- ・ぎゃく待されているか、わからない公園やどうろで朝はおはよう、昼間はおかえり、ってどの子にも、こえかけます
- ・被害を受けた方が環境を変えたり、泣いてることが多いように思う。加害者にもっと罪の意識を持つようにしてほしい
- ・子供が身近に家以外でかけこめる場所など見かける事がほとんどない

- ・相談できる場所や、施設について、周知されていると感じない
- ・幼い子供達が、親やその関係者などに命をうばわれる事件を聞くと、悲しくなる。もっと行政が、しっかり対応して欲しいと思う
- ・いじめや虐待をうけている人は何人もいた。けれどそれを見つめるのは子どもだし、それをいじめと判断するのも、相談するのも子ども。きっかけは子どもなのに守られるわけがない
- ・ヤングケアラーの問題も含め、子ども自身が誰かに相談してもいいと気づけていないケースもあるように感じる
- ・毎日の様に耳にするいじめ虐待信用している人からの事が多く安心安全には生活できていないと思う
- ・逃れる方法や相談場所(方法も)を知らない気がする
- ・昔のいじめより、いんげんないじめが多くなっている
- ・特に川崎市という地域において、逃れたり相談したりしにくい。地域性なのか、コミュニティが狭い
- ・年々若者の自殺率が高まっているとニュースで見たことがある
- ・いじめ、虐待と世の中で続いているから
- ・子供のことを親が決めていることが多い。特にスポーツでは親がこうしろああしろと言って育ててる。
- ・子供の特にいじめによる自殺が社会問題になるたびに教育委員会の対応に疑問を持つ
- ・いじめは自分だけで解決できるものではなく、やはり周りがあることなので、子どもが自分で自身を守ったり、助けを求めたりするのは難しい状況と思われる
- ・子供が未来に希望を持てるようにしてほしいと思う
- ・今の学校では先生が対処しないまたは、分からないというケースが多くなっています
- ・友達からのいじめ、教育者からの体罰、親からの体罰や虐待等の報道が絶えないからである。
- ・いじめがなくなる、教師の力不足もあるかも知れない
- ・子どもが被害にあう事件が後を絶たないから
- ・加害側の自覚の有無は別問題として、まだ現実としていじめや虐待が存在するため完全にゼロというのが理想論とは思いつつも、そこに向けて子供達、家庭、地域で目指していきたいという思いを込めて選択いたしました
- ・自死を選んでもうくらい追い詰められてしまう子どもたちがいるから
- ・今でもいじめで亡くなる子は無くないしそれに関わった大人達も何もして無い事があるから。もちろん色々助けてる大人の方が多いとは思がいじめや虐待じゃないか？と思うような光景を目にすることがあります
- ・世間では色々なニュースがあり、変わっていない。人は、守られる権利がある
- ・道徳心を育む教育になっているか疑問です。GHQが作った教育ではなく、戦前教育の見直し、教育勅語は学ぶべきだと思います
- ・小さな子供は虐待されていても逃れることが出来ていない。相談もできないでいる
- ・どうしてもいじめられてる人の方が立場が弱くなってしまうと思う。いじめられていると周りに言うことでさらにいじめられるから相談できないなど。

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・近年公園で遊んだり、騒いだりするとすぐに問題となり、成長の機会が減っている為、1番守られていない権利だと思います（他1件）
- ・家庭によって経済面など、差がある（他1件）
- ・他人から励まされ、力づけられる機会は多くないと思うから
- ・特にそういう機会があるということを知らないの
- ・遊ぶ環境も学ぶ場所も結局は親の所得に依存しているケースが多い。私自身土・日サービス業で仕事をしているが子供の居場所探しに頭を悩ませています
- ・個々の差が出ているように感じている
- ・ネット上の意見はこの正反対と言える意見が多く存在し、現状、これに触れる機会に制限はなく、またフォローもないため ・大人が先回りし過ぎというか、カバーし過ぎている気がする。信用されてない気がする
- ・「自分で決める権利」もそうですが、家庭環境などが理由でそれが叶わない子もいる。また、学校や保育施設などにおいても守られていない教育がなされている場合があると思う
- ・大人が気がつかない面
- ・成長や自信につなげられるようなアプローチはできているのか不明、評価がしづらい
- ・子供がすでに成人したため、今の子供達の現状がよくわからないので、イメージです
- ・保育園、保育所、学校等の給食等の無償化が全体に無い
- ・遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながらるように励まされ、力づけられるはずが…部活の試合で負けた理由を、「やる気がないからだ！途中で諦めたからだ！」と罵倒した挙句もう指導しないと云われ、他の顧問からは遠回しに謝りに行くよう促されたと、友人（の息子）から聞いた。頭ごなしに怒鳴る指導を今の時代また続ける中学教師がいる事に疑問を感じる
- ・学校など集団で学習する場では、ある一定の能力が求められる。得意不得意でこぼこのある子は、得意を活かすことよりも苦手を指摘されることが多いと感じるから
- ・個人の得意・不得意もあるので、場面場面で声掛けや対応方法を変えているが、経験値や家庭教育の差もでてしまっているように感じる

- ・子どもたちの様子をみることがあるが、もっと前向きにとらえられることがあればいいのにと感じることもある
- ・消費税の増税、物価高で豊かな暮らし力づける権利の面でお金が習い事とかにまわらない現状。たとえば学校では一人一人に目が行き届かないと思う

5 自分で決める権利

- ・家庭、学校生活において、大人が決めたことに従わせる場面が多く、子供が自分で決めることを見守る余裕がないと感じる為（他 10 件）
- ・先ずどこまで自分の判断で決める事ができるのかという子供の能力にも寄りますが親や親族が一方的に決めるというのも見た事があります
- ・自己決定力の場が少ない
- ・自分の事自分で決めるはない
- ・SNS の普及で自分が見えなくなっている自分と向き合えていない気がします
- ・日々の生活の中でも自分で決めるという事を習慣になっていないと出来ない為。親の忍耐力の問題
- ・年齢の低いと助言の方が強く受け入れられる ・弱者である子どもが、自分で判断出来るか疑問
- ・必要な情報までたどりつくためのリテラシー教育がどこまでできているか不明
- ・自分で決めるということの難しさがあるのかなあと感じますでも、決めていんだよ。という、アドバイスは大切
- ・なんとなく
- ・公立の学校のおしつけが多い
- ・親がいるから、自分で決めることができない子もいるから
- ・少子化もあってか、大事にされ過ぎて、子供の自立心が他国に比べると低いような印象。親が子供のことを管理
- ・学校以外の子供同士の交流場があればいいかと。学校のみ人間関係しかない行き詰まる子供もいるかも。
- ・またサマースクールや、サマーキャンプなど、もっと子供一人で考え、決断させ、行動できる機会を作ってもいいのと思うから
- ・不登校言葉の定義付け。学校に行かない選択肢を多くしてもいいと思う
- ・守られていないわけではなく、もっと機会があつていいと思う
- ・子供の頃は、金銭面などで親の支援を受けなくてはならない部分が多くあると感じるから
- ・決めるための知識や情報を教える場がないと思われるため

6 参加する権利

- ・学校のカリキュラムなど画一的だと感じるから
- ・なかなか自分の意志を云えない
- ・情報が不足している場合がある
- ・ゲームやスマホなどに興味をもちすぎなのではないか？
- ・やりたいことや学びたいことがあっても貧困等の問題であきらめたり、がまんしてることもあると思うから
- ・周りにながされて、自己表現できる子が少ない
- ・見たことがない、聞いたことがない。
- ・権利が守られるかどうかは親次第だと思う為
- ・目に見えた活動がないと思う。(情報が入ってこない?)
- ・責極的に活動する子どもは良いが、悩み等云えないで抱えている子も多い。学校や家庭だけではなく投書などを受け付けるポストがあればと思う
- ・あまりこのような場で子どもを見ないから ・表現があいまい、わかりづらい
- ・守られてないというか、権利としては必要性がなく、ゆえに与えられもしてないのでは？
- ・日々の生活が親も子も忙しそうで、忙しく日々が過ぎていき、なかなか社会参加し、自分の意見を言う機会が少なくなっているのではないかと
- ・差別をしないといっても障害がある子は仲間を作りづらい
- ・人と違う事を言ったり、したりする事は、周りとうと判断されあまり認められていないと思う

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・支援は進んでいるように感じるが、まだまだ必要な子に届いていないのでは（他 3 件）
- ・子どもにあわせた支援が十分ではないから（他 2 件）
- ・制度としてあっても、知らずに支援を受けれていない子どもがいると思うから（他 1 件）
- ・守られていないというよりは、知られていないのかと思います（他 1 件）
- ・国の違いにより差別があると思う（他 1 件）
- ・このような支援があるかわからない（他 1 件）
- ・障がいのある子に個々に応じた教育が、まだまだ足りないと思う
- ・一部に障がいなどで差別はあると思う

- ・7が一番守られるためには難しいと思ったので
- ・どこに助けを求めたら良いのかわからないから
- ・日本では、トランスジェンダー等含めて海外と比べると遅れをとっているように思います。異文化交流など、差別を感じさせないような関わりが必要かと思います
- ・あまり実感したことがないので
- ・まだまだ個々の違いが理解されていないと思うから
- ・今後の課題だと思うから
- ・実態がよく分からないため
- ・大人を含めて「差別」の意識がある人が一定数存在していると思うから。
- ・まわりに、交流できる場を知らない
- ・初対面の人に対しての接し方で差別されたと思う事はあると思う。ただ必要な事は相手を理解して会話を進めて交流を進める事だと思う。自身、昔の話だが、親の職業が林業で…いじめにも会ったが、半年もたたない内に友人もいっばいできた
- ・子供を療育に通わせたいが待ち時間が長く2ヵ月またされたから
- ・個人ひとりひとりに対応するのは理想どうりかなそう！人手不足のため！
- ・自分自身があまり現状を知らないため、私と同じように問題を認知すらしてない人が多いのではないかなと思うから
- ・まだまだ人種によって差別があると思う
- ・知り合いや身近にいる、7のような子どもに対しては、多少理解をもって接する事ができても、街中で見知らぬ子どもにできていないと思うから
- ・支援を受けるまでの道筋が知られていない
- ・実際に見たことはないですが、世の中には差別があると思うのでなくした方がいいと思います
- ・支援、けんりは守られてきているがまわりがまだへんけんが多い
- ・どこで支援を受けられるか、広く周知されるべき。形がよい化した権利になっていないことを願います
- ・我が子ではありませんが、他の子どもを見て、差別されていると感じる場面があるので選びました
- ・障がいや理由に生きづらさを感じる場面があると思うので
- ・不法滞在の外国人の子供の人権が守られていないというのをTVで観たことがある
- ・子供であるという理由だけで、周りがすべてその子供の個性に応じて接してもらえと思っているご家庭が不特定多数いらっしゃる感じます
- ・国の違いや障がいなどで、明白に差別されている現実がある
- ・「自分に本当に合った世界」というのは、努力して自分で構築していくものであって、産まれた時から用意されるものではありません
- ・印象的にはニュース等からそう感じるため
- ・国籍や病気、障害といったハンデを持っている人たちに対し、社会の理解が進んでいない。社会的障壁をなくすための自治体や国の施策も十分でない
- ・実態は理解出来ないが、ニュース等でその印象を持っているため
- ・個別な事情が多様で、実際に全ての人が満足できるような支援をすることは難しいように思うため
- ・援助の条件がわかりづらく、情報が与えられていないように思われる。また、支援の拡充が必要だと思われる。社会全体的に足りていないと思うから
- ・いじめ、虐待、体罰が無いようにする
- ・障害を含めた子供の個々の事情に対応した教育が不十分と思う。ただし、現状の学校教育のやり方ではそれは難しいと思うし、かといって現状の学校教育が間違っているわけではないと思う
- ・子どものいる家庭に対して補助金があるが区分が大まかに感じる。児童手当の給与の区分が大きく開きすぎている保育園でも保育料の違いが給与に対してあるのはおかしいと思う
- ・イメージにすぎないが、障害への理解や支援はまだ足りていない気がしたから
- ・昔ほどではないが、まだ差別等がなくなっているようには感じないから
- ・個別の必要は親の判断に委ねられる場合が多く、子ども自身による支援へのアクセスは制限されやすいから
- ・支援の手立てはたくさんあるものの、知られていなかったり、広く伝わってなかったりすることから支援を受けられていない子供がいると感じるから
- ・市の制度というよりは、市民の教育が行き届いていないイメージがあるから

Ⅱ 『あなたや子どもの生活』についてお聞きします。

Q 5 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。（〇は1つ）

	件数	%
1 子どものこと	109	27.5
2 子ども以外の家族のこと	96	24.2
3 職場の人間関係	80	20.2
4 友人の人間関係	22	5.6
5 地域の人間関係	40	10.1
6 恋愛	14	3.5
7 お金	174	43.9
8 健康	197	49.7
9 その他	24	6.1
（無回答=20、N=396）		

【その他】

- ・親の介護（他2件）
- ・震災や天災への不安（他1件）
- ・老後どこでどう生きているか（他1件）
- ・仕事の業務が多い（他1件）
- ・仕事自体のこと（他1件）
- ・将来的
- ・近所でも話合いが出来ずえんりょがちになる
- ・子供達の未来
- ・障害があること
- ・離婚が多く感じる（私の周りを含めて）
- ・ペット
- ・インターネットにおける中傷問題について
- ・未来の国が今まで通り繁栄しているか？
- ・マンション自治会の運営
- ・昨今の世界情勢
- ・老後の社会との接し方、人間関係
- ・格差
- ・障がい者の長いしょう来の事
- ・今の日本の政治、行末に対しての不安。（子供が戦争の道具にされる未来）
- ・他に兄弟がいないので親の死後のこと（手続きや自身のこと）、自分の死後のことも手続きやお墓、家の荷物…どうなるのか
- ・人生の今後のキャリアプラン
- ・就職活動
- ・孫が幸せに過ごしていけるか不安
- ・義務教育中の子育て

Q 6 あなたは、自分の好きなことをする時間はありますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 ある	360	90.9
2 ない	31	7.8
無回答	5	1.3
合計	396	100.0

Q 7 あなたは、ふだん子どもの話を聞く時間がとれていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 とれている	191	48.2
2 とれていない	36	9.1
3 子どもはいない	159	40.2
無回答	10	2.5
合計	396	100.0

Q 7-1 Q 7において「2 とれていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

	件数	%
1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから	16	44.4
2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから	12	33.3
3 聞くよりも子どもに伝えることのほうが多いから	7	19.4
4 どのように聞いたり受け止めたりするとよいかわからないから	4	11.1
5 その他	5	13.9
（無回答=2、N=36）		

【その他】

- ・子どもが部活や塾で忙しい
- ・子供が独立し、今は行先がわからないから
- ・子供の方が一ぼうてきにきめてしまう
- ・成人しており、家庭を持ったことにより、密に連絡とるのが難しい
- ・成人してすでに家を出ているため

Q8 あなたは、家のことで何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 聞いている	63	15.9
2 だいたい聞いている	141	35.6
3 ほとんど聞いていない	23	5.8
4 聞いていない	9	2.3
5 子どもはいない	145	36.6
無回答	15	3.8
合計	396	100.0

Q8-1 Q8において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。

子どもの意見を聞き、反映や実現できたことで印象に残っていることはどんなことですか。

- ・進路の決定（他 24 件）
- ・休日の過ごし方や出かける所など相談している（他 13 件）
- ・家族旅行の行き先（他 10 件）
- ・食べたい物など（他 7 件）
- ・ペットを買うこと（他 3 件）
- ・子どもが自発的に考えたことは子どもの意見を聞き、応援していきたいと思う（他 3 件）
- ・就職（他 2 件）
- ・結婚について（他 2 件）
- ・テレビやゲームの時間、ルール（他 2 件）
- ・塾（他 2 件）
- ・スマホの使い方や利用方法を理解できたこと（他 1 件）
- ・大きな買い物をする時（他 1 件）
- ・将来の事（他 1 件）
- ・部活動での取り組みなど（他 1 件）
- ・家電等購入時（他 1 件）
- ・ほしいもの（おもちゃとか）（他 1 件）
- ・0 歳児のため、まだありません（他 1 件）
- ・部活動（他 1 件）
- ・（4 才）主に食事を何にするか聞き一緒に作る等。服をどれにするか?ヘアゴムをどれにするか?休日はどこに行く?
- ・1 日にあったことをまとめ、夕食の時間にそれぞれが話します。最初は短絡的でしたが、近ごろ出来事に感想を足すことができています
- ・NYC に行きたいと言われ叶えたこと
- ・あまり自分の意見を言う事ができない子が(知的障がいあり)ここに行きたい、(旭山動物園の白熊)と行ったので、連れて行ってあげると凄く喜んだ
- ・夫の介護(施設に入れるか否かについて)自宅で介護
- ・大きな手術を受けることになった折、自分や配偶者の意見を述べ、子ども達の考え意見を聞いて、皆納得して、手術を受けることができた。充分、各々の考えを話し合えてよかった
- ・外出時に親の注意をよく聞いている
- ・お小遣いに関する事と、勉強に関する事。お小遣いは本人の希望通り月額制にしたり、その都度渡したりしている。勉強は、今まで口うるさく言っていたが、本人が逆にやる気が失せるとのことでやめた
- ・かぞくかいぎをしている
- ・健康について、または、日常の生活について
- ・夢を叶えられた事
- ・習い事をする or しない、何をしたいか、週どのくらい通いたい、本人に決めてもらいました（他 7 件）
- ・言葉がまだ話せないの今と今とこなし
- ・子ども(孫)の、気持ちになって、遊んでいます
- ・子どもが一番安心して通院できる病院を決めた
- ・日用品不足とか生活必需品購入時。
- ・子どもがまだ 1 才なので、一緒にあそぼうレベルの話です。可能な限り応えます
- ・行事
- ・子どもから私に意見され、私自身反省すること多々あり ・弟の名前
- ・子ども自身が自分の権利を知らない、権利行使をしない。又面倒臭さがって権利放棄してしまう
- ・子どもの主張を否定から入るのではなく、なぜそう思うのか?そう行動したのか?を聞き、可否を決めて子どもが納得したこと

- ・長期休暇の際の家族イベントの実施
- ・子どもの悩みごとを聞き、解決する補助をしてきた。好きな料理を聞き一緒に手作りしてみたりした。
- ・子供の話を聞き、自分の事自身を顧みる機会を多々与えられた
- ・まだ 0 才だがどの絵本が良いか選ばせている
- ・子供は、すでに成人しているのですが、雨もりをした時、どの様に進めていったらいいか
- ・最近の若い人たちは子どもがはなしかけてもスマホをやって子どもの話を聞いていないのを目にすると、子どもがかわいそうになります。どうしたのと話しかけるとうれしそうに話す
- ・聞くようになったのは最近なので…
- ・私生活や仕事の予定行動、結婚式のスケジュールと招待客の希望意見。私の一人生活への意見。
- ・成人(既婚)40 才台の子供に対し、自分の子供を持つか、持たないか訊ねた
- ・塾のテストで 90 点以上取ったら褒美あげる！と言ってモチベーションを上げています。もちろん、取れない事もあるので「いつも頑張ってるね～」と言って外食に行ったりしました
- ・悩みごと(私・親)のヒントになった子どもに意見をきいて
- ・引越し先
- ・必要なと聞かれます。品物(通販)多く有り
- ・勉強、宿題に取り組む時間を決める時、本人のタイミングでやりたいと言われてやらせた事で実現できている
- ・毎週末子供の意見をきき、応援できること合わせられることは、協力する。
- ・まだ 4 歳と幼いのでそこまで大きなエピソードはないですが、保育園の転園はいやだという子どもの意見で引越し先を考えました
- ・家を建築する際に子供部屋をどうレイアウトするか
- ・目標の高校に合格したらデスクトップのパソコンを買って欲しいという要望を実現した
- ・引っ越しを考えた際、子供たちはまだ小さかったのですが、子供たちが一番賛成してくれたとこにしました。住む場所が変わるストレスを子供たちが選んだ！と言う楽しみに変換できたと思います
- ・家を決める時に、学区など話し合い、実際に、旧住まいの近くで探し、越境した
- ・家具家財を選ぶとき、子供の意見を取り入れたり（できるだけ）希望を叶えたことで、家や空間に愛着を持ってくれている様子を見て大人だけで決めなくてよかったなと思いました
- ・家族で出かける時、勝手に決めて来た事が子どもが 10 歳以降程になると勝手に決めないで欲しいと言われたこと
- ・子どもが小学校低学年の時「わくわく」に行くのを嫌だと言ったので、平日の午前中しか働かないようにした
- ・子供が考えた仕事や役割を作り、そこで周りに認められた経験がその子に自信を与えたこと
- ・子供が生まれてから大きな決断はしていないが、日頃のなんてことない意思決定については意見を聞いているのではと思う
- ・子供部屋を作るのにベッドや机の位置など反映できた
- ・自分自身の働き方について働く時間を増やして少し子供への負担が増えてしまい協力をお願いして快諾してくれた
- ・実家の両親との同居で引越した事、転校や友人関係で話し合った
- ・生活での行動
- ・大学受験の準備を共同で行ったことなど
- ・賃貸で住んでいたが、校区内に家を買ったことそのままのお友達と過ごしたい希望もあり決断した

Q8-2 Q8において、「3 ほとんど聞いていない」または「4 聞いていない」を選んだ人にお聞きします。

聞いていない理由は何ですか。

- ・一緒に住んでいない（他 2 件）
- ・子供の家庭もあるのでまだ夫婦で解決できるからほとんど聞きません
- ・子供が 7 才頃に離婚したため、相談しないで子供が安心して生活できることを考えたため。今は少しずつ相談している
- ・子供(18 才以下)が孫のため、子供の親が聞いているため
- ・家の事、…内容にもよるが、子供に聞く事はほとんどない。只、例えば旅行とかだと言いたい所とか誕生日にほしいものとか、位しか
- ・近くに小さい子供さんがいない
- ・子供が判断できない内容の場合
- ・家族の都合を優先してしまいがち親のスケジュールに子の行動を合わせてしまいがち
- ・何かもの事がきまってから知らされるので
- ・独立しており、それぞれの生活が有り、負担をかけられない
- ・費用を出すのは自分だから
- ・子供はまだ 1 歳半なので
- ・いいんじゃない？と言う
- ・お金がからむ大きな問題は大人同士で相談してすすめるため。ご飯の献立はこどもと近しい問題なので意見を聞くことが多い
- ・親の決定でよいと思う

- ・自分の事は自分で決める
- ・子供本人の事については、もちろん本人に意見は聞くが、家の事はまだ高校生なので、子供に聞くことはほとんど無い
- ・たまに聞く、聞かない時は、聞いても参考にできないと思うとき
- ・日々の生活に関わること（食事の献立や生活リズムなど）は子ども主体で決めますが、家全体関わるようなことは大人がやらざるをえないので、大人都合で決めてます
- ・子供にたまに聞くが内容にもよります
- ・ひとり者だから
- ・子供と会っていないから
- ・身近に子どもがいない
- ・ほとんどが妻と相談して決めているので、子供から直接意見を聞いたことがあまり無い。間接的には聞いているのではないと思われる

Q9 子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいると思いますか。（〇は一つ）

	件数	%
1 そう思う	271	68.4
2 そう思わない	108	27.3
無回答	17	4.3
合計	396	100.0

Q10 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 あると思う	105	26.5
2 だいたいあると思う	203	51.3
3 ほとんどないと思う	66	16.7
4 ないと思う	5	1.3
無回答	17	4.3
合計	396	100.0

Q11 子どもにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてに〇）

	件数	%
1 自宅	343	86.6
2 友だちの家	58	14.6
3 学校（教室・図書室）	78	19.7
4 クラブ・部活動	61	15.4
5 習い事	33	8.3
6 公園	45	11.4
7 公的施設 （図書館、こども文化センターなど）	50	12.6
8 民間施設 （カラオケ、ゲームセンター、飲食店など）	41	10.4
9 特にない	11	2.8
10 その他	23	5.8
無回答	18	4.5

【その他】

- ・祖父母の家（他5件）
- ・保育園（他4件）
- ・親戚の家（他2件）
- ・人それぞれだと思う（他2件）
- ・場所ではなく、どこであっても自分の居ごちの良さを感じられるところ。
- ・親のふところ
- ・保健室
- ・療育センター、リタリコ
- ・鉄道駅
- ・従姉妹の家
- ・家へ帰っても一人が多い
- ・子供の心を理解してくれる人との場
- ・登下校中、習い事やクラブも他人と比較されない種類のもの
- ・自分のしゅみにうちこめているとき
- ・実家・皆で行く旅行祝事などの集い
- ・自宅であってほしいと思うが、虐待などもあると聞くのでその場合はないのかもしれない

Q12 日常生活で、文化・国籍等のちがいが、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 そう思う	127	32.1
2 ときどきそう思う	201	50.8
3 ほとんどそう思わない	34	8.6
4 そう思わない	17	4.3
無回答	17	4.3
合計	396	100.0

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きます。

Q13 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人がいますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 いる	312	78.8
2 いない	68	17.2
無回答	16	4.0
合計	396	100.0

Q14 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに〇）

	件数	%
1 夫・妻・パートナー	247	62.4
2 親	124	31.3
3 親・夫・妻・パートナー以外の家族	63	15.9
4 友人	191	48.2
5 職場の人	57	14.4
6 近所の人	12	3.0
7 相談機関	16	4.0
8 その他	18	4.5
9 相談したいけどできない	9	2.3
10 相談したいと思わない	14	3.5
無回答	10	2.5

【7 相談機関】

- ・こころのホットラインのようなもの
- ・会社の福利厚生として提供されている機関（スト・レスマネジメント系） ・婦人相談
- ・幼稚園、療育センターかかりつけ医、リタリコ
- ・ケースバイケース ・障害者支援事業所
- ・区役所 ・川崎市のそうだんきかん
- ・保険に付いているメンタルヘルス相談
- ・同じような問題を抱えている人が集まっている自助グループや支援組織 ・児童相談所
- ・キアアセット ・生活相談支援センター
- ・子どものことなので、区の子育て相談センターに相談します
- ・地域の児童家庭支援センター

【8 その他】

- ・子供（他4件） ・相談する内容についての専門家（他2件） ・保育園の先生（他2件） ・姉妹
- ・公益社団法人スコーレ家庭教育振興協会の人達 ・自分に相談し自分で決定します
- ・兄弟 ・信頼できる人（昔から変わらず相談にのってくれる人） ・親せき・いとこ
- ・病院 ・習い事の知人や先生 ・心療内科の医師 ・カウンセラー

【9 相談したいけどできない理由】

- ・夫は難病を患い、友人は大体が施設入居
- ・真陰に相談にのれる機関ない
- ・心配をかけるだけだし、あとは親のことや親の死後のことを親には相談できない
- ・自身の置かれている環境や性格を理解して相談にのっているように思えない。また、ニュースなどでの児童相談所の対応があまり関心しない。（アメリカのようなもっと権限を与えないとなにも出来ない）
- ・相手も忙しいだろうから
- ・そういう性格だから
- ・相談したい相手がみつからない

【10 相談したいと思わない理由】

- ・解決するとは限らないため
- ・解決されたことがないのに、相談してもいみはないと思う

- ・自分できめる
- ・必要に迫られたら相談をするが、公的機関の相談窓口は対応に差が大きく利用しにくい
- ・必要が無い
- ・基本的には自分で決めることが多いので
- ・現代では解決に必要な情報はインターネットで容易に得られるから。
- ・悩んでいることを伝えることが難しい。また、望む回答が得られないのではないかと考えてしまう
- ・なるべく自分で解決したいと思うから

**Q15 川崎市には次のような相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）がありますが、知っていますか。
また、利用したことはありますか。（知っているものすべてに○、利用したことがある場合は◎）**

【知っている】

	件数	%
1 児童相談所	311	78.5
2 民生委員・主任児童委員	226	57.1
3 スクールカウンセラー	211	53.3
4 総合教育センター	77	19.4
5 24時間子供 SOS 電話相談	145	36.6
6 教育委員会の教育相談室	78	19.7
7 人権オンブズパーソン	69	17.4
8 川崎いのちの電話	214	54.0
9 かわさきチャイルドライン	91	23.0
10 子どもの人権 110 番	118	29.8
11 その他	8	2.0
無回答	54	13.6

【利用したことがある】

	件数
1 児童相談所	11
2 民生委員・主任児童委員	3
3 スクールカウンセラー	8
4 総合教育センター	11
5 24時間子供 SOS 電話相談	0
6 教育委員会の教育相談室	5
7 人権オンブズパーソン	3
8 川崎いのちの電話	3
9 かわさきチャイルドライン	3
10 子どもの人権 110 番	0
11 その他	3

**Q16 あなたは、子どもに関して困ったり悩んだりしたとき、Q15 のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。
（○は1つ）**

	件数	%
1 したいと思う	242	61.1
2 したいけどできない	34	8.6
3 したいと思わない	94	23.7
無回答	26	6.6
合計	396	100.0

【したいけどできない理由】

- ・電話すること自体に勇気がいるのと、どうやって伝えたら良いか迷う（他4件）

- ・はずかしい（他 1 件）
- ・どこにいるのか不明（他 1 件）
- ・どこに何を相談すればいいかわからない
- ・困ったり悩んだりする内容による
- ・今までこんなに色々な機関があるのを知らなかったのとっさに思いつかないかも
- ・まどぐちかわからない
- ・他人に話しをするのに抵抗感がある
- ・手続きの方法が分からない
- ・どの程度の事柄で相談して良いかわずかしい適切な相談機関が不明瞭でたらい回しにされそう
- ・大げさなことに思ってしまう
- ・周囲からの目
- ・できたら自分で解決したい
- ・めんどくさい
- ・「そんな程度で」と軽く、事務的に、仕事としてこなされてしまう気がするから
- ・秘密が守られるのか、相談相手に適切なことを言われないうる心配
- ・どこに TEL すればいいのかわからない
- ・育て中は、家族以外に頼ることができなかった気がします
- ・気軽に相談できない情報が漏れそう
- ・なかなか身近に感じていないため
- ・解決できるかわからないから
- ・本当に助けになってくれるのか不安
- ・細分化されすぎていてばっかりとした悩みを相談できる場所が見当たらない
- ・具体的に助けてくれるのか不安がある

【したいと思わない理由】

- ・子供がいらないから不要（他 7 件）
- ・今のところ必要ない（他 6 件）
- ・親と家族でなるべく解決したほうが良いと思う（他 6 件）
- ・相談できる人がいるから（他 4 件）
- ・今まで困った経験がない、又、ちょっとした事なら身近な人に相談し解決している（他 2 件）
- ・結局自分で決めなくてはと思う（他 1 件）
- ・初対面で困っている内容を話にくいから（他 1 件）
- ・信頼できない（他 1 件）
- ・親身になってくれるかわからない（他 1 件）
- ・秘密が守られるのか不安（他 1 件）
- ・本気で考えてくれるか分からない
- ・はっきりとした理由はありますが、もしその様な事態になれば考えが変わるかも知れません
- ・もう大人で分別がある
- ・最終手段という感じだから
- ・金銭的余裕があるなら、民間のサービスを利用したい
- ・自分の状況を全部話さないと伝わらないと思うから
- ・受動的な機関で解決に疑問が残るから
- ・身近でないから
- ・番号知らないの
- ・そこまで、悩む事がなかった
- ・知らない人に話そうと思わない
- ・話をわかる迄話す。愛情をもって、思えば思ってくれるはず
- ・たらい回し
- ・今の所、学校や公園で仲良く遊んでいます
- ・当事者同士で解決すると思います
- ・まずは子どもと直接話し合うことが出来ているから
- ・こういう機関は実際に利用しても、助けてはくれない
- ・他人にはいられたくないから
- ・一度勇気を出してかけたが、ろくに話しを聞かず自分の主張ばかりで役立つ情報もなく、ただ心が傷ついたから
- ・必要に迫られたら相談をするが、公的機関の相談窓口は対応に差が大きく、進んで利用したいと思わない
- ・救済を求めるレベルではなく、相談であれば信頼関係を築けている友人や家族にと思うから
- ・相手がどんな人かわからないのに例えば子育て経験のない男性にアドバイスされても、嫌な気分になる。
- ・気軽には行かない場所だと思っているから

- ・ハードルが高い、相談機関に関する知識が少ない
- ・そこまでの事かと思いたくないし、決まった答えしかかえってこなそう
- ・大きな内容でなければ相談しにくい
- ・話しても解決できないような気がする
- ・自分で考えるべき問題のため
- ・自分の子供はすでに成人しているから、もしも周囲でそのような状況の子供があることがわかったら利用するかもしれない
- ・事務的、当たり障りのない内容、ネットで調べたような
- ・どこで何をすれば相談できるのかパッと思い当たらない
- ・家族で話し解決できることは解決したいが、できなかつたら頼りたいです
- ・関係が近い人に相談に乗ってもらった方が、状況を理解してもらいやすいと思うから。
- ・してもありきたりな回答しかない。結局は、自分で解決する事もあると思うし、親族や友人の方が親身になってくれると思う
- ・寄り添う風で根本的に助けてくれない。責任が伴わないので
- ・どういう組織がわからない。利権が多い中、本当に信用できる組織なのか
- ・第3者に相談したところで、改善するとは思わないから

Q17 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 対面で（直接）相談できる	211	53.3
2 電話で相談できる	175	44.2
3 文章（チャット、SNS など）で相談できる	122	30.8
4 通話料がかからない	89	22.5
5 知っている人に相談する	121	30.6
6 知らない人に相談する	52	13.1
7 その他	11	2.8
無回答	26	6.6

【その他】

- ・専門家の居るところ ・友人、親
- ・弁護士相談や、カウンセラー相談
- ・①市長への手紙、②市会議員から担当部局に継なげる③その問題のオーソリティー
- ・相談機関が平日のみの場合が多い、仕事をしていると難しい場合がある ・顔をあわせないから
- ・公的機関 ・身近で相談できる人がいる。
- ・専門的な知識があり、相談援助業務に前向きに取り組んでいる人材が多い機関
- ・どのようなところでもない
- ・話をきちんと聞いてくれるところ （アドバイスばかりしてくるところが多い気がする）
- ・相談する手段よりも、自分のタイミングで相談できるか、聞く相手が信頼できるかどうかによる

Ⅳ 『地域のこと』についてお聞きします。※子どもとお住まいでない方は、身近な子ども（近所や親戚の子どもなど）や子ども一般のことについてお答えください。

Q18 あなたは、地域の活動・ボランティア等に参加していますか。（○は1つ）

	件数	%
1 参加している	30	7.6
2 だいたい参加している	27	6.8
3 ほとんど参加していない	86	21.7
4 参加していない	244	61.6
無回答	9	2.3
合計	396	100.0

Q18-1 Q18において、「1 参加している」または「2 だいたい参加している」を選んだ人にお聞きします。
地域で何かをきめるとき、子どもの意見を聞いていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 聞いている	3	5.3
2 だいたい聞いている	19	33.3
3 ほとんど聞いていない	18	31.6
4 聞いていない	12	21.1
無回答	5	8.8
合計	57	100.0

Q18-2 Q18-1において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。
子どもの意見を聞いたことで印象に残っていることは何ですか。

- ・子ども目線と大人目線ではちがう
- ・父が悪い。母が悪いといったこと
- ・竹のこほり
- ・地域のサッカーチームに子供が入会していた頃(20年ほど前)練習試合をするのにどこ試合をやりたいか、子供達に聞いていた
- ・子供行事には、参加した子供達に案など聞いた事がある
- ・町内会行事等で子供によっては自分の都合のみ求める人もおり公平を心がけている
- ・子供1人1人の話し合では本人もかっこつけないが、人数多く成ると意見が強くなり、口話がだんだつになる。自分を強く見せようとする子供もいる、優しい子供もいる、まちまち
- ・公園清掃などに参加することになり、子どもに聞いたならきれいになることは気持ち良いと言ったこと
- ・あれがしたいこれがしたい叶えられるようなことは聞いているつもりです
- ・子どもの調べたいことのサポートや、朝会での話し合い、アンケート活動など
- ・自分たち(子供達)の意見が反映、尊重されていることでやる気に繋がったり、責任を持って取り組んでいる様子が見れたこと。誇らしげな様子は見ていて頼もしく、成長が感じられて嬉しいものです

Q18-3 Q18-1において、「3 ほとんど聞いていない」または「4 聞いていない」を選んだ人にお聞きします。
子どもの意見を聞けていない理由は何ですか。

- ・子どもと大人と一緒に話し合う時間があまりない。大人がだいたいのを決めている(子どもに適しているかどうか考えながら)
- ・親の意思で参加しているので
- ・活動の内容が子供には、関係のないことだから
- ・町会とかが主であり、そういう話を子供とする場面が無い
- ・夫に意見を聞く事が多い
- ・地域活動をする内容が、直接子どもに関係しないものである事が理由
- ・大人のみの会議で決めている
- ・ボランティアに参加しているが子供たちとの交流の場が設けられていない
- ・聞く機会がないため(他2件)
- ・地域で何かを決める際、子供の意見を求められる事が少ないから
- ・必要性がないため
- ・子供の意見を聞くボランティアに付くボランティアはなかった
- ・関心が無さそうなので
- ・なかなか、聞ける状況にない。会えた時には聞くようにしている
- ・子どもが来ないから(他1件)
- ・子供がすでに成人して独立しており、身近に子供がいらないためよくわかりません。イメージ
- ・地域で何かを決めるということがない。すでに決まっていることのお知らせがくるので参加したりしている。
- ・子どもの意見を聞く立場ではないから
- ・子どもの意見を聞く体制がないから
- ・町内のお祭りは昔から同じ流れで行っているの、そもそも「子どもの意見」は存在していない。全ての前例がない事柄について「子どもの意見」は反映されにくい。(大人であってもダメなのだから)
- ・子供達と公がない
- ・予定が直前のため
- ・子供の意見を必要とする活動をしていない

V 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q19 あなたは、自分が好きですか。

	件数	%
1 好き	81	20.5
2 だいたい好き	203	51.3
3 あまり好きではない	89	22.5
4 好きではない	13	3.3
無回答	10	2.5
合計	396	100.0

Q20 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。（○は1つ）

	件数	%
1 感じる	117	29.5
2 だいたい感じる	217	54.8
3 あまり感じない	50	12.6
4 感じない	5	1.3
無回答	7	1.8
合計	396	100.0

Q21 あなたは、毎日が楽しいですか。（○は1つ）

	件数	%
1 楽しい	69	17.4
2 だいたい楽しい	246	62.1
3 あまり楽しくない	67	16.9
4 楽しくない	7	1.8
無回答	7	1.8
合計	396	100.0

Q22 子どもは、毎日が楽しいと感じていると思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 そう思う	69	17.4
2 だいたいそう思う	268	67.7
3 あまり思わない	39	9.8
4 思わない	5	1.3
無回答	15	3.8
合計	396	100.0

Q23 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。なんでも自由に書いてください。

- ・地域の活動やボランティアなどに参加し、多くの人とかかわることが大切だと思う（他 16 件）
- ・社会に参加するには大人と関わり経験して行くことが大事だと思う（他 14 件）
- ・親や家族からの愛情（他 12 件）
- ・子どもを育てていて一番感じるのは、とにかくお金がかかるということです。子育てにかけられる予算がとても低いということが原因だと感じます。（諸外国と比べて子どもにかけられる予算が低すぎる）少子化の時代にもっと子どもをとりまく環境が豊かにならないとこの国は終わってしまうと危惧しています。行政、国をあげてもっと豊かな養育・教育環境を整えることが最も大切だと思います。（他 10 件）
- ・悩みや困った事を相談できる環境（他 8 件）
- ・生活環境が整う事（他 7 件）
- ・子どもの意見を尊重し聞く耳を持つ（他 6 件）

- ・失敗を恐れずチャレンジし、チャレンジしたことを肯定する大人が周りにいること（他 5 件）
- ・差別のない社会（他 5 件）
- ・家庭環境（安全と安心の確保）（他 5 件）
- ・親やまわりの大人が愛情をもって接したり見守っていくこと（他 4 件）
- ・親だけに限らず、周りの大人のサポートが必要だと感じます（他 3 件）
- ・多様性の理解（他 3 件）
- ・大人が自分らしく生きている姿を見せてやれること（他 3 件）
- ・学校生活では先生や周りの人から見守られながら、こどもがそれを実感し、何かあったときにはひとりではない、自分の力になってくれる人がいることを感じながら、生活していけること（他 2 件）
- ・様々な環境にいる子どもたちが平等に教育を受けることができること（他 2 件）
- ・外で遊ぶことが大切だと思う。公園ではボール遊びができないのはかわいそうと思う（他 2 件）
- ・時代に合った社会見学を常々見直すことが大切だと思います（他 2 件）
- ・いじめや虐待を受けている子どもが逃れられる居場所を作ってあげたい。特に自分から訴えることができない小さな子どもを、周りの大人たちが目を光らせ守ってあげたい。苦しんでいる小さな子どもに気づいて助けてあげる社会にならなくてはいけないと思う（他 2 件）
- ・お金の心配なく学業、医療、趣味、自分の自由な時間等気にせず成長してほしい。子供の教育は全て無料に国が保障すべきです（他 1 件）
- ・安全で安心して暮らせる社会（他 1 件）
- ・大人の子供に対する理解（他 1 件）
- ・夢中になれることがあること（他 1 件）
- ・相手を、思いやる気持ち（他 1 件）
- ・「被害」の内容を子ども自身が知らないと、子どもは被害を受けたと思わないかもしれない。私自身がある程度、成長してから過去のできごとをあれは被害だったと後から気づいたから。大人だったら、イヤなことがあれば人に言えるけど、子どもはなぜか言うてはいけなさと感じてしまうかもしれない（他 1 件）
- ・親となったら子供に対する責任があることの自覚が必要だと考える。自分優先ではなく子供優先、そうすることで親がストレスをため続けてはいけなさとと思うが、子供育てで人間として成長できるのだから（現在進行形の方にはそうは思えないとは思いますが・・・）親としての人生を生きてほしい（他 1 件）
- ・大人が子どもに関心を持って接し、見守ることが大切だと思います（他 1 件）
- ・「子ども」全体についての一般論ではなく、子ども一人ひとりの状況をよく知り、個別に向き合うことが大切だと思う
- ・身体だけでなく、心も健康であること
- ・家庭ではもちろんですが子どもの周りの社会にいる大人も子どもを一個人として尊重する事が必要（他 13 件）
- ・色んなモノ、人に触れる機会を増やし吸収することで自分の人生を見つめこう生きたい!と理想の自分を描くことができると思う
- ・人に迷惑をかけず健康で楽しく生きて行く事が大切だと思います
- ・信頼関係が大事だと思う
- ・障害があっても、のびのびと生活できるような環境
- ・挨拶
- ・支援
- ・良い友人を作る
- ・何でも話せる友達を作ることだと思います
- ・子供を育てる家族が困難に直面した際に頼れる制度やサービスを充実させる、子供が相談先に簡単に辿り着けるようスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの人員を増やす
- ・会話ができる
- ・元気でいればそれでいい
- ・大人も子ども同様に安心して暮らすことができれば大人の心にゆとりができ、子どもにもやさしくなれると思う。自分が支えてもらえたから（大人）、自分も支えたいと（子どもを）自然と思えたらいいのでは
- ・広い心
- ・親が毅然として子供に助言できること。最終的には子供の人生は子どものものであり、大人になればお互いに対等な大人同士になるということを理解して、小さいうちから育てること
- ・基本的人権が守られていること
- ・悪意に飲まれないこと
- ・信頼、手本になるような大人がいること、困ったことがあったら頼れる存在がいること。大人の私でも信用できない、マナーのなっていない大人がよく見かけるので…）まずは大人たちがかわっていきべきだと考えています
- ・子ども安心して自分らしく暮らすためには地域全体で子ども達を守っていかないとはいけません（他 4 件）
- ・子供が成長していく過程で一番重要な時期は小学 1 年から 6 年までの小学校時代だと思う。この 6 年間の学校生活の学びが基本となり人間形成がされていくのであれば、これに携わる教師の責務は重大である。
- ・まわりに安心できる環境が整っていること。居場所があること

- ・こどもが自己肯定感を高く保てること
- ・家庭内で問題があってもなかなか外見からは判断できず、顕在化したときには命にかかわるということがあるということをよくききます。行政としてなかなか家のことにふみこむことができないとは思いますが、ある程度は積極的に介入することも必要であると考えます（財政・マンパワー上限界はありますが）
- ・情報が行き渡ることは大切だと思います。学校以外でも、情報が渡るツールが必要と考えます
- ・日頃から部活や勉強の量が多く、好きなことを見つける余裕がないように感じる
- ・自分で選択ができるようになる必要があり、可能性を広げる為の質の高い教育と、社会と接する為の機会、情報を、得られる環境が大切と考えます
- ・将来の仕事などの体験や考え方を大人のうちかはできたらいいと思う
- ・あまり周りに気をつかわずのびのびと遊んだり勉強したりする環境が必要
- ・難しいですが、子供の言動を“大人の都合”を理由に否定しないこと
- ・親自身が豊かに暮らせていること
- ・子供には答えがないことでも怒る・伝える努力をすること、スルーしないこと
- ・大人が経済的に自立し人生を楽しんでいること
- ・子供の特徴に合った教育を受けられること
- ・親が人に頼らず、産んだ責任を貫くこと。厳しく育てること。甘やかしてはいけないこと。将来の自身(子供)と世界の為、周りに迷惑を掛けないこと
- ・成長度合いに応じて自由と責任をセットで与える事
- ・子どもを追い込まない様に言動に注意すること
- ・年金、お金について子どもの頃から学習させる
- ・組織は縦社会でできているということを教えることが必要だと思います。平等の意味を間違えているような気がします
- ・家庭、学校、地域が連携して子供を見守り続け、個人を大切にすること
- ・日本経済の発展・教育現場のコンプライアンスの向上(厳しさも必要)
- ・何でも話せる友人がいること
- ・まずは親が安心して、自分らしく生きている。そして、きちんとしている人間である事。その上で、愛情と理解をもって、子供を育てる
- ・教育や将来に不安を持たずに生活できる事
- ・愛情、信頼、関心をもって接し、善悪のけじめをしっかりと教える(大人の責任、義務)。その上に他人に対する思いやりのこころを持つこと、又お金は身をもって働いて得ること。相対する大人が正しく生きていることが必要
- ・安心して自分の気持ちや考えていることを話せる、世の中にはたくさんの個性を持つ人がいて、その中の一人であり、“普通は”に捉われすぎないこと、違うことを面白さとして受け入れるマインドを持つこと
- ・家族に大切にされていること。家族がいなくても、それに代わる大人から守られ大切にされていること。希望のある未来を思い描ける社会であること
- ・親、社会、行政が、もう少しだけ真面目に考える事
- ・色々な友だち、色々な大人、色々な仕事、色々な趣味、色々な街、今までに知らなかった事を見たり聞いたりして新しい発見をする事、自分が成長できる事を、変われる事を知る事自分ののびしろを感じながら希望をもって生きていく事たのしく、けんこうにくらす事、自分のことだけでなく、まわりをたすけて役立てる人間になろうとする事、いい大人になろうと思える事
- ・大人が適切な環境を用意し、自守性をおもんじているから見守ること、必要に応じてサポートすること
- ・大人が人や親がもう少しきびしくする所はしてやさしくする所はやさしくメリハリをつけてはどうでしょう
- ・親が子供が安心できる環境を作ってあげる自分の思う事を自由に言えて話し合える家族関係が出来ればいい
- ・親から認められて、生活が送れることが大切だと思います
- ・親学校
- ・地方に移住
- ・親の感心。子供の自主性、感性、プライドこれらを支える情報
- ・または頼れる大人の存在を支援、意見をすべて聞き入れるでもなく、頭ごなしに否定するでもなく、なぜNGでなにならOKか“理由”をもとに子供の考える力をのばしていくことが大事だと思う。そういった課程を経る中で自分らしさを得ることができると思う
- ・子供をこどもとしてでなく1人の人間として向き合うこと、意志や感情を受け入れ共感すること、帰る場所があるということ、自分の味方や応援団がいると感じられること
- ・安心して帰れる場所があること
- ・学校、習い事など子どもに関わる人の対偶の改善、また不適格な人(性犯罪、いじめetc)が関わらない仕組み、監視の制度
- ・家庭の安らぎ、学校でいじめのない平和な生活、クラスメートで仲良く出来る友達を作る
- ・学校で一生けんめい、勉強しようして、先生のいうこときいて、友達を沢山すくって、自分らしく生きて欲しいです。家では、祖父、祖母、家族がいるので、のびのび大きくなってもらいたいです
- ・学校で校外授業を増やし、経験や視野を広げて好奇心をもてたら成長につながる気がします。家では、子供が習い事、部活、塾が忙しくいろんな体験ができてないです

- ・笑うこと、を実行する
- ・学校では、部活などで人との接し方などを学び、様々な人と交流して社会に出て行ってほしいです
- ・家庭の中で大切にされ、家族の一員として役割をもったり、自分のできること、やりたいことを一生懸命やりながら、失敗を経験し、反省したり次に頑張ろうと努力することにつながられるよう大人が見守っていく
- ・権利という言葉は履き違える大人がいてそれを子供が見ています。確かに権利は大切ですが、それを十分に理解、実践できる環境作りが大事です。環境は周囲の大人が作っていくものですので、まずは大人が参画できる/参画しやすい基盤があって、それを周知する手段があると良いのではないかと考えます
- ・子供同志良く遊ぶその中で友情や力の関係を学び成長すると思う
- ・子どもが自分の意見を言っても良いという環境である。大人は、衣・食・住・お金・情報・医療など正しい知識を持つ努力をし、子どもが正しい判断・理解ができるように自らも学びつづけていく。役所・国・行政が決めたから守らなければいけないのではなく、自分で考えることを推進していく必要がある
- ・子ども自らが権利主体であることを自覚し、この社会を変革しつくり上げていく気持ちを持って欲しい。社会が子どもの権利行使をほししょうし、かつ支援して行かねばならない。受験などの過度な競争に晒さない
- ・子ども自身が考え、自ら選択し、周りの大人がその子どもの考えを尊重し、支えていく環境づくりが大切だと思います。子どもの頃から親や学校の先生といった日々のとくていの大人だけでなく様々なバックグラウンドを持つ大人との接点をもつことも必要なのではないかと思います
- ・子ども自身に決定権をもたせつつ、大人がサポートしてあげられる環境。子どもがいろんな年代の人と関わり、いろんな価値観を知ること
- ・子どもだからと情報を制限されず、何が悪いのか何が良いのかを信頼できる大人と相談すること。また自分のおかれている環境、感情を客観的にみれる練習を幼い頃からできること
- ・時には自由に時には監視してあげる
- ・子どもに過干渉せず、意志を大切にし、悩みがあれば聞けるよう心を開いておく。問題が起きたら、すぐに解決に努め、子どもが、安心して、生活できる環境を作る。時に、いじめなどで苦しむことがあれば、無理にその集団に在ることをさせて、冷静に考え、必要なら学校や集団から離れるよう支援する。他の人と一緒に同じ事をしなければならぬと追いつめることはしない。社会は、失敗する子どもを追いつめず、見守るべき。SNS など含め、攻撃するような面を厳しく取りしめるべき
- ・子供は自分の個性を早くみつけ、それに向って努力する
- ・子どもを含む他人に対して、悪い点や劣っている点に目を向けて非難するのではなく、良い点や優れている点に目を向けて褒める姿勢が大切
- ・皆がそのように生きられるよう、政治(経済面)が国民に目がむいていること
- ・困っている、そうでなくても自分を思いやってくれて、助けてくれる協力してくれると思える大人が側に居ること。そうして安心した状況下で、学習やそれ以外のしゅみが集中して行えると思う
- ・個を尊重する社会は大切なひとつですが、組織体(社会)の中では自己表現と相手を許容できる人間性としての成長には試練も必要かと
- ・自主性を尊重すること。社会上の基本的なルールを身につけること
- ・自分が大切にされている、愛されていると感じること、親や、その代わりにしている大人を信じられること。学校に行って、良い人間関係を作って自分の世界を拓けて行くことだと思います
- ・自分自身を理解すること。長所・欠点は何か、何をしたいか、またはしたくないか。自分の心を深くみつめること。その上で、自分に必要な場、人、心が安定すること、場を見つけ、自分の好きなことができるよう努力すること。失敗しても、そこから学んで、またチャレンジする勇気を持つこと。はげましてくれる、心豊かな大人が周りにいたら、その人に相談したり、知恵をもらって、少しずつ軌道修正して、楽しみをみつけながら生きて欲しいと思う
- ・将来に大いなる希望を持ち、更にそれを実現しようとする、ふだんの努力
- ・自分らしく生きるのは大事だけど、自由、わがままは違うし、どんな人でも2割の人から嫌われるし、性格が合わない人と出会うことは教えた方がいいと思う。正しい、正しくない、白黒ハッキリのバツンと分けるのではなくお互い様、思いやりも大事で、自分の好きな人や害のない人ばかりに囲まれるのではなく、合わない、嫌いな人からも学べることを知ってほしい
- ・信頼できる大人達の存在と失敗を許容できる環境
- ・自由な時間を与えること大人が許容力を持つこと大人が厳しくも愛情ある指導をだれもが親に代わってできる社会の実現。生活のゆとりと自分に居場所があるコミュニティに参加していること
- ・自由に自分の考えを言えるように社会環境を変える。(考えを言った時否定せずよく聞き一緒に考える)小、中、高で社会生活、ボランティア等に、かかわらせた方がよいと思う。実社会での、仕事の種類や、働く意味も考えるように、なるといいですね。スマートホン、SNS、ゲームの制限は必要!!
- ・しょうがいがある子どもにりんきおうへんにうごいてってことばはりかいできないのでぐたいてきにマニュアルをつくってほしい
- ・なるべく話しをする選択肢が多くなるよう親が努力をする
- ・将来への不安がないこと。(年金や親の介護、子供の教育費、などお金の心配がないと良い)
- ・その子どもにとって心から信頼できる大人が1人でも身近にいて、いざという時に守ってくれることが大切

- ・義務の学校教育をもっと充実させて塾に通わないと受験が出来ないのは不自然と思います。この辺を改善しないとどんどん差がひろがり日本国の地位は下がるばかりと思います
- ・家族以外の頼れる大人がいる
- ・長男も停年退職して数年になりますが、高校・大学に入学する時、希望の学校に入学出来るよう最大の努力をすることです
- ・やりたいことを否定せず受け入れ、個性を伸ばしてあげる
- ・常に子供の事を気につけ、見守り、大切にしているかを感じさせ、小学生迄はいろんな社会参加を土台作りに集団行動の大切さを身につけさせ、自分の好きな事を早く見つけて育ててほしいと思います
- ・普通に3食の食事が出来る事親からのDVが無い事
- ・町の治安世界平和
- ・勉強では、通常授業で成長できるシステムが必要と思い、塾へとは進まず、伸び伸びできる環境が必要
- ・ほっとく時はほっておく必要な時は気にかけるのジャッジ
- ・家庭の生活基盤が安定していること
- ・本当に自ら進んで取り組める、経験したいと思い前に進め、よろこびや苦しみ、痛み、くやしき、楽しさ、達成感を心身で受けとめ成長できる社会。身近な環境整備とともに、虐待や孤児であっても夢を持って生きて行ける世界になってほしい。その為には、もっと未来を見据えた取組が必要だと考える
- ・子供の個性を生かすこと
- ・まず大人が真面目に生き真剣に何にでも取り組んでいれば子どももそれに準じて成長していくと思う。あまりがんじがらめにしすぎることなく、悪いことは何かをしっかりと教えれば、あとはのびのびとさせておくことがいい
- ・まずは、出生から育児へのサポートを国なりし、市町村が担い、ストレスのかからない状態でいられること。その上で親自身が安心して自分らしく生き、楽しみながら社会参加をする姿を子どもに見せることが大切だと思う
- ・まず貧困世帯をなくす。片親世帯(特に母親のみ)でも充分に子供と過ごす時間がとれて、子供たちの将来のためにお金が使えるように、親の収入(特に手取り分)を増やす。日本自体が余裕がないので、子供たちが社会に参加しようにも社会がそれをこぼれているように感じる。あと子供に対する性加害が多いように感じるので罰則を厳しくする。子供が自分らしく生きるためには土台となる家庭が安定していないと子供も安心して暮らせないと思う。特にいなかに住んでた自分からすると川崎市はかなり都会。都会はいろんな選択肢が充実している分、子供たちは小さなころから習いごとをしたり、大変そう。その習いごと親の裕福度によって子供の受けられる質も量もちがう。もう何を言いたいかわからなくなりましたが、日本が豊かになれば子供も豊かになるだろうし、子供を産み育てようという人も増えると思います
- ・周りがいろいろ「やりなさい」と言うより、子どもが自分で興味ある事にどんどん進んで行った方が良いと思う
- ・同調圧力を気にせず生きていっていい事を小さいうちから浸透させる
- ・みなが自己表現し、個々の意見を持つこと。また、日本はネガティブ思考なのでポジティブに考えを持てるように小さい頃から特訓するべき
- ・スマホ等、自分の知らないところで知らない人が…。「いじめ」の温床になっているのがとても怖く感じています。子供達の成長過程において大人(親)、教師、友人の存在は大切な宝物と感じています。その繋がりがあるのと無いのでは、全く違ったものになると私は、思っています
- ・私の子育てした時代と今の保育、教育環境が違うのであまりわからないのですが、社会性と自分らしく生きることの間に相変らずへだたりがあるように思う。親が生活に追われることなく社会に参加できれば、子どもも同様に育ち成長していけるのではと思う
- ・安心できる場所、SOSが言える場所、理解ある人、サポートしてくれる人
- ・意見の尊重、協調性、川崎市は治安が悪いところではない！
- ・衣食住が確保されていること。大人に理不尽に怒られないこと。親の機嫌に左右されないこと。周りに愛されていると感じること ・社会のルールを教えてもらえ、その範囲であれば自由であることを教えてもらえる
- ・各学校や家庭が、子どもたちが社会参加できる場を可能な限り提供し、様々なことを体験させることが大切だと思います。これを実現するために、貧しい家庭環境にいる子どもたちの境遇を改善するための支援施策を充実させることも大切です。低所得世帯の経済的な支援をさらに充実させることから始めると良いと思います
- ・学校の時間をもう少し延ばし、人と関わる時間を増やしたり、校庭開放にもっと人が集まるようにしたい
- ・学校や習い事以外の自由な時間を十分とることで、遊び、休息、勉強などができると思います。大人が子どもに対して働きかけることよりも、子ども自身が何か要求を掲げることによって川崎市のあり方に変化を与えることが重要だと思います
- ・健康な食事と日本の未来を期待できるような教育
- ・学校教育というカリキュラムだけでなく、他の期間との連携、協力。授業時数に縛られない柔軟でかつ、社会との関わりを大切に交流
- ・自主性を重んじること、承認すること
- ・教育制度の改正。教育は大事だけど、こどもが興味あることを伸ばせる環境が欲しい。子供同士が相談してルールを決めていく自治体制の確立。大人はヘルプ要請があったときだけ対応する。中学生以上の年頃になったらますますそのあり方は大事と考える
- ・将来に向けてのプランを考える時間を取ったらい

- ・時代に合わない意味のない校則は廃止すべき。制服は特定の行事のみ、普段は好きな服装で良いと考える
- ・高年齢世代を政治の表舞台から退出させることが必要。絶望的に人権軽視で、男尊女卑、固定観念が強すぎる
- ・小さい頃から自分で考えて、その考えを言えて、自分で決めることが大事だなと。学校で、ああしなさい、こうしなさい、言われた通りやればいい、みたいに指導されてきたのに、大学になったら急に自由になり全部自分で決めなければならず、壊れそうになっていました。学校である程度誘導したり締め付けたりしないといけないのも理解できるので、家ではもっと自分で考えてそれを聞けばよかったなと思ってます
- ・子どもの性格や、得手不得手はあるにせよ積極的に発言、行動に移せることが大事だと思います。そのために発言しやすい雰囲気を家庭や学校で整え、しっかり話を聞けるだけの時間を取れるように大人側も仕事や家事など調整しやすい環境が必要だと思います
- ・強制されないこと、活動できる場、チャンス、選択肢が多くあること
- ・育児休暇、各種手当（金銭的な部分含む）を受けられやすいことも大事だと思います
- ・子育て世代同士、ご近所付き合いなど、子どもが過ごす環境の大人が関わりを持って地域ぐるみで子育てできる街でありますように
- ・親や先生が余裕を持って子供に接することができるような支援のあり方
- ・子供のうちから、まずは自分自身が何者なのか考える癖を作らせる教育がどんな事柄よりもまず大事。年齢によっても価値観が変わって行く中で、どんなネガティブな自分も受容し認めて受け入れていく。完璧な人間はいないこと。人には個性があって、得意と不得意を持つてるもの同士が補い合い生きていること。自分を好きになること、自分を許すこと、自分を責めない。そこから欠乏感や不足感がなくなって自分で自分を満たせられると、前向きな力が湧いてくる。そして自分に優しくなれて人にも優しくなれる。経験を積んで成長していつてもらいたい
- ・監視カメラなどを用いて客観的な事実を記録し、確認できる様にする事
- ・子供は宝、社会全体で育てていく事が大切だと思う
- ・自分と他人は違うという事をしっかりと教えること
- ・治安の良い環境、遊びやすい場所があること、地域の活動や学校での社会活動への参加を積極的に行うこと
- ・自分が置かれた環境に馴染むこと、自分のことを考えすぎない。また他人のことも考えすぎない。ベストは中間的な存在
- ・子供を育てる家族が困難に直面した際に頼れる制度やサービスを充実させる
- ・自分の年代では社会参加は家庭、学校、地域そして友達が全てであったかなと思います。近所にはいけないことをしたら叱ってくれる近所の人も居ました。他人の子供も指導してくれる社会であって欲しいと思います。自分のような 56 歳のオヤジが他人の子供に声を掛け難い世の中になってしまったのが残念です
- ・周りから何か言われることなく、自分の好きなように遊べたり、学ぶことができる場所
- ・一度不登校で社会から離れたとしても、それで終わりではない、いつでも社会に戻れると感じることができるような具体的なロードマップを示すこと
- ・色々なところに自分の居場所だと感じる事のできる場所がある
- ・周りの大人、社会全体による援助。子どもをもつ親への手厚い援助(子どもが何にも邪魔されることなく安心して生きていけるかどうかはその子の親や家庭環境は少なからず影響すると思うから)
- ・色々な事(イベント等)に参加する機会は重要だと思うが、その機会があること、情報を子供に周知させることが大切だと思う。その情報を得られるか否かが参加する機会を得られるかにつながるし、情報格差があると思う
- ・犯罪に巻き込まれたり、不要に傷ついたりせず、自分を大切にしながら安心できる人に囲まれて過ごすこと
- ・大人が不条理なことから子供を徹底して守ることと、過保護になりすぎないこと
- ・我が子は重度の知的障害児ですが、今まで出会った人たちはほぼほぼみんな親切で、娘に良くしてくれました。少しでもそのような子たちや親が、地域で暮らしやすくなるようにと願うばかりです

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

Q24 あなたの令和6（2024）年4月2日時点での年齢をおしえてください。

	件数	%
10 歳代	2	0.5
20 歳代	35	8.8
30 歳代	52	13.1
40 歳代	102	25.8
50 歳代	77	19.4
60 歳代	51	12.9
70 歳代	37	9.3
80 歳以上	32	8.1
無回答	8	2.0
合計	396	100.0

Q25 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

	件数	%
1 男性	152	38.4
2 女性	230	58.1
3 選べない・答えたくない	9	2.3
無回答	5	1.3
合計	396	100.0

Q26 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 妊娠中	2	0.5
2 0～2歳の子どもがいる	21	5.3
3 3～6歳（就学前）の子どもがいる	30	7.6
4 小学1～3年生の子どもがいる	35	8.8
5 小学4～6年生の子どもがいる	49	12.4
6 中学生の子どもがいる	27	6.8
7 18歳未満（4月2日現在）の高校生世代の子どもがいる	38	9.6
8 18歳以上（4月2日現在）の子どもがいる	153	38.6
9 子どもはいない	128	32.3
（無回答=7、N=396）		

Q27 あなたの住んでいるところをおしえてください。（○は1つ）

	件数	%
1 川崎区	58	14.6
2 幸区	43	10.9
3 中原区	71	17.9
4 高津区	59	14.9
5 宮前区	62	15.7
6 多摩区	54	13.6
7 麻生区	44	11.1
無回答	5	1.3
合計	396	100.0

Q28 あなたは、川崎市に住んでどのくらいになりますか。（○は1つ）

	件数	%
1 1年未満	14	3.5%
2 1年以上5年未満	39	9.8%
3 5年以上10年未満	48	12.1%
4 10年以上	291	73.5%
無回答	4	1.0%
合計	396	100.0

Q29 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 父	31	7.8
2 母	44	11.1
3 祖父	2	0.5
4 祖母	3	0.8
5 兄弟姉妹	21	5.3
6 夫・妻・配偶者・パートナー	283	71.5
7 おじ	0	0.0
8 おば	0	0.0
9 子ども	180	45.5
10 孫	8	2.0
11 一人暮らし	53	13.4
12 その他	4	1.0
（無回答=6、N=396）		